



# KAN-KAN SQUARE PROJECT 2023

**日本大通りイルミネーション**  
12.2(sat)-12.25(mon)  
@日本大通り

イルミネーション  
を楽しめ

**ボールパークファンタジア**  
12.9(sat)-12.17(sun)  
@横浜スタジアム

関内駅前で  
ひと休み

キッチンカーで  
ホットワイン  
を購入!

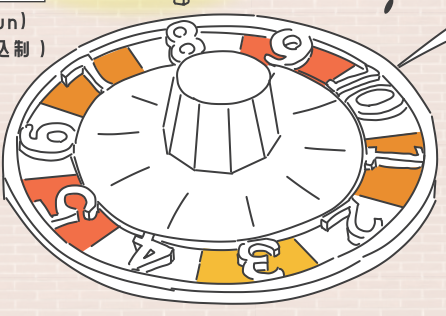
トランプ  
で遊ぶ

カフェで  
ひと休み

クリスマス  
プレゼントを  
ゲット!

**まちあそび人生ゲーム**  
12.9(sat)-12.10(sun)  
@関内地区(事前申込制)

**関東学院大学クリスマスツリー  
イルミネーション**  
11.21(tue)-12.24(sun)  
@ 関東学院大学



大通り公園に  
遊びます

大様様まで  
おでんぽ

イラスト  
Haruka Nakamura

## KAN-KAN SQUARE PROJECT とは?

関内駅の東側「関内」と西側「関外」(=**KAN-KAN**)を、一体の空間(=**SQUARE**)として、これから再開発事業などで生まれ変わっていく関内駅周辺エリアの魅力を高め、賑わいを創出することを目的としたプロジェクトです。イルミネーションを中心に、まちなかに散りばめられた様々なコンテンツを体験しながら、関内・関外**〈KAN-KAN〉**を楽しんでください!

**【主催】** KAN-KANSQUAREPROJECT2023 実行委員会 (株式会社ディー・エヌ・エー、株式会社横浜スタジアム、三井不動産株式会社 (横浜市旧市庁舎街区活用事業 事業者代表企業)、三菱地所株式会社 ((仮称) 関内駅前港町地区第一種市街地再開発事業 事業協力者代表企業)、株式会社電通、関東学院大学、公益財団法人横浜市スポーツ協会、一般社団法人日本大通りエリアマネジメント協議会)

**【共催】** 横浜市都市整備局

関内文きちが  
未来プロジェクト

## 〈関内駅周辺のこれかゝ〉

関内駅周辺は、開港以来の歴史と文化や個性豊かな商店街など、独自の魅力を有している関内・関外地区の中心であり、横浜の顔として親しまれてきたエリアです。現在、「国際的な産学連携」「観光・集客」機能が集積し、にぎわいにあふれるエリアとなることを目指し、新しいまちづくりが進んでいます！



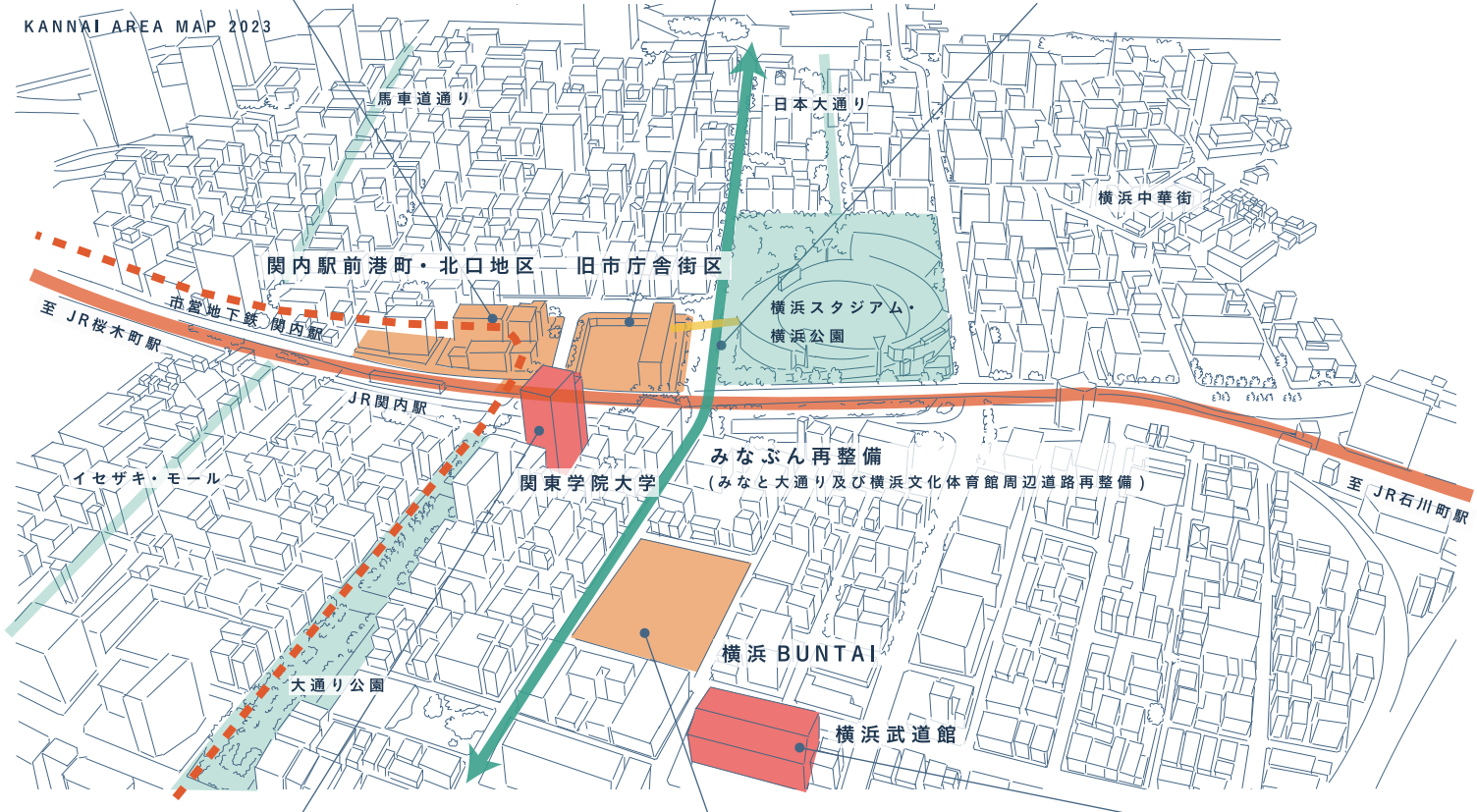
〈関内駅前港町・北口地区〉令和11年度竣工予定  
「国際的な産学連携」「観光・集客」「都心居住」機能の導入を図ることで、世界中から多様な人材が集い、にぎわいを生み出し続けるようなまちづくりに貢献します。



〈旧市庁舎街区〉令和7年下期竣工予定  
「継承・再生・創造」をまちづくりの理念に、旧市庁舎行政棟を保存・活用し横浜の文化を継承し、格式ある景観を形成します。また、次世代の横浜を象徴するエンターテインメント&イノベーションの拠点となり、新たな感動とにぎわいの源泉となる街を創造します。



〈みなと大通り及び横浜文化体育館周辺道路〉歩道を広げる等の道路再整備（令和9年度竣工予定）や旧市庁舎街区と横浜公園方面を歩行者デッキで繋ぐ（令和7年度竣工予定）ことで、回遊性を向上させるとともに、連続的ににぎわいの創出を目指します。令和5年度は滞留スペースの設置により、道路利活用の検証をしています。



〈関東学院大学〉  
令和5年4月、横浜・関内に関東学院大学の新たなキャンパスが誕生しました。横浜・関内キャンパスは、様々なイノベーションを創出する「知の交流拠点」として、多彩な施設の開放や、シンポジウムや講演会の開催など、市民の皆さまにも幅広くご利用いただけるキャンパスをめざします。



〈横浜 BUNTAI〉令和6年4月開業予定  
旧横浜文化体育館敷地に立地する、延床面積約15,000㎡、3階建て、観客席の一体感を生む扇状(U字状)の劇場型アリーナで、観客席約5,000席を有します。市民スポーツ等の大会だけでなく、プロスポーツやエンターテインメントなどのイベント開催が可能な施設です。



〈横浜武道館〉  
令和2年7月、旧横浜総合高校敷地に立地する、横浜市の公共施設で、初めて本格的な武道場を持つ施設が誕生しました。スポーツとエンターテインメントを通じて、「人」と「まち」と「文化」をつなぎます。  
1階：武道場（観客席約500席）  
2階：アリーナ（観客席約3,000席）